

実務経歴証明書記入例 (⑫：研究に関する場合)

第一号の三書式 (第1条の5関係) (A4)

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

〇〇大学大学院 〇〇研究科長

証明者 **登録 太郎**

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許一郎)
TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

免許申請者との関係 **申請者が所属する研究科
の研究科長**

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 **建築 太郎**

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： **2** 年 **0** 月

建築実務の内容：

- ・ 建築物の設計に関する研究について、△△施設における温熱環境の多変量解析を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。
- ・ 建築物の設計に関する研究について、△△ダンパーを連層配置した高層建築物の地震応答特性を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。
- ・ 建築物に関する調査又は評価に関する研究について、△△市内の歴史的建築物の実測調査及び図面化を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。

備考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。

3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。